

回	学校視察	日時	令和5年2月10日(金)8:30～
場所	町内各小中学校	参加者	委員10名 事務局4名
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校視察</li> <li>学校より説明 教育課程(複式学級等)</li> <li>教職員の配置</li> <li>学校施設</li> <li>地域との関わり</li> <li>児童・生徒の様子</li> </ul>  		
意見等 (順不同)	<p>【教育課程について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>縦割り班活動(異学年の交流活動)を大切にしている学校があり、いろいろな学年の友達と関わることが大切だと思った。</li> <li>中学校の部活動について、単独チームでの活動が今後ますます困難になることが予想される。</li> </ul> <p>【教職員の配置について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単式、複式を繰り返す学年があることで、教職員の数にも影響が出てくるということで、学校の負担が増すことが心配だ。</li> <li>不登校傾向の児童生徒の個別の支援もあり、サポーターの先生方も町として活用しておられることが分かった。</li> </ul> <p>【学校施設について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成に建てられた頓原小学校、来島小学校はきれいに感じた。</li> <li>頓原小学校は、廊下を出るとすぐに交流スペースや読書スペースがあり、子どもたちにとってもいい環境になっていると思う。</li> <li>学校施設の老朽化が気になる。特に志々小学校の老朽化が気になった。</li> </ul> <p>【地域との関わりについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どの学校でも公民館と連携しており、公民館を中心にいろいろな人との関わりがあることで「ふるさと教育」が充実している。</li> <li>Iターンの子供生徒が増えているということだった。学校があって、住宅があって、地域づくり・まちづくりと教育の関係性もあると感じた。</li> </ul> <p>【児童・生徒の様子について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どの学校の児童生徒も落ち着いて学習に取り組んでいる姿を見ることができてよかった。</li> <li>小学生は小学生らしく明るく元気であり、中学生は中学生らしく落ち着いて学習していると感じた。</li> <li>少人数では多様な意見に触れる機会がないという課題に対してオンライン等での交流学习を実施しておられて、素晴らしいと感じた。</li> <li>ICT教育を授業だけでなく、不登校の児童生徒への対応にも活用されていることに驚いた。</li> </ul> <p>【視察した授業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習が丁寧に指導されていると感じた。(昔とは違ったスタイルに驚いた。)</li> <li>グループでの学習やICT機器を用いた授業などどの授業にも工夫があった。</li> <li>複式学級での学びは、自分たちで学習を進める場面があり、主体的な学習につながっていると感じる。一方で音楽や体育などある程度人数が必要な教科については、2つの学年で行う苦勞などもあると思う。</li> <li>複式学級の授業を進めるには、教員の指導力もかなり必要だと思った。</li> </ul> <p>【その他(全体を通して)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人数が少ないからこそ地域と密着した様々な体験活動ができる良さがある。</li> <li>今後の教育にとって、何がベストなのか難しい選択だと感じる。</li> </ul>     		

回	第4回	日時	令和5年2月16日(木)18:00～
場所	来島交流センター	参加者	委員14名 事務局5名
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの検討委員会の経過報告</li> <li>学校視察についての報告</li> <li>答申の全体構成(案)について</li> <li>今後の進め方(スケジュール)について</li> <li>まとめ(作野委員長)</li> </ul>		
意見等 (順不同)	<p>【経過報告について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この検討委員会での協議内容は、保護者、自治会文書、広報等で周知することで多くの方に現在の状況を知っていただきたい。</li> </ul> <p>【学校視察について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校視察等をふまえた上で、地域として何ができるのか考えていきたい。</li> <li>地域住民から、子どもや保護者の名前が分からなくなったと聞くこともあり、地域と学校のつながりの重要性を再認識した。</li> <li>学校における働き方改革の実情についても教えていただきたい。</li> </ul> <p>【答申の全体構成について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭教育についても答申に加えてほしい。家庭教育が子どもの育ちの根本にあると思う。</li> <li>人口減少や少子化など心配な面の教育環境の在り方への答申ではなく、学校と地域とのつながりなど良い面も盛り込んだ答申にする必要があるのではないか。</li> <li>飯南町としての今後の教育環境やまちづくりの戦略が見える答申になるとよい。</li> </ul> <p>○今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R4年度からR5年度で、「教育環境基本方針を」作成する予定。</li> <li>その後、R6年度からR7年度で「基本計画」を策定し、R8年度以降に「実施計画」となると、社会情勢や教育環境が現在と変わってくることが予想されるため、もう少しスピーディーに進める必要がある。</li> </ul> <p>○まとめ(作野委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飯南町として定住とのセットで考えていく必要がある。</li> <li>例えば飯南高校の生徒が飯南町に帰ってきて活躍するような流れにつながる教育について考えることが望ましい。</li> <li>中学校をどうしていくのか考えていく必要もある。</li> <li>中高の連携については、今でも授業や部活動等で連携しておられるが、さらに中高の連携を強化する必要があると感じる。</li> <li>飯南町の教育がさらにバージョンアップするために今後も協議をしていきたい。</li> </ul>		